

平成26年度全国学力・学習状況調査  
**設問別調査結果 [算数A：主として知識]**  
 広島県一児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を集計した値である。

対象学校数	広島県（公立）	全国（公立）	対象児童数	広島県（公立）	全国（公立）
	489	20,177		24,538	1,080,657

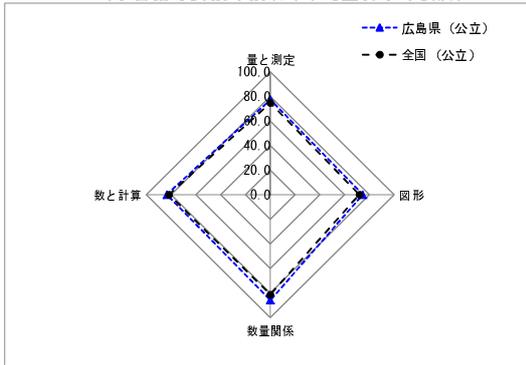
分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（%）		
			広島県（公立）	全国（公立）	
全体			17	80.7	78.1
学習指導要領の領域	数と計算	8	83.6	81.8	
	量と測定	3	77.4	74.8	
	図形	4	74.6	71.8	
	数量関係	3	85.9	81.3	
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての技能	8	90.1	87.9	
	数量や図形についての知識・理解	9	72.3	69.5	
問題形式	選択式	8	73.5	70.7	
	短答式	9	87.0	84.8	
	記述式	0			

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

**設問別市町別平均正答率一覧**

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式
<b>教科全体</b>													
1 (1)	46+57 を計算する	繰り上がりのある加法の計算をすることができる	2A (2)ア							○			○
1 (2)	903×6 を計算する	被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる	3A (3)イ							○			○
1 (3)	9-0.8 を計算する	小数第1位までの減法の計算をすることができる	3A (5)イ							○			○
1 (4)	2÷5 を計算する	商が小数になる除法の計算をすることができる	4A (5)ウ							○			○
1 (5)	100-20×4 を計算する	減法と乗法の混合した整数の計算をすることができる				4D (2)ア				○			○
1 (6)	1/3+2/5 を計算する	異分母の分数の加法の計算をすることができる	5A (4)オ							○			○
2 (1)	示された図を基に、赤いテープの長さ(80cm)の1.2倍に当たるときの赤いテープの長さを求める式を選ぶ	割合が1より大きい場合、比較量の求め方が(基準量)×(割合)になることを理解している	5A (3)ア							○	○		
2 (2)	示された図を基に、青いテープの長さ(80cm)の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ	割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が(基準量)×(割合)になることを理解している	5A (3)ア							○	○		
3	示された分数の中から、1/2より大きいものを選ぶ	分数の相等及び大小について理解している	5A (4)ア イエ							○	○		
4 (1)	8m <sup>2</sup> に16人いるAの部屋の様子を表している図を選ぶ	二つの数量の関係について、単位量当たりの大きさを調べる場面と図とを関連付けることができる		5B (4)ア						○	○		
4 (2)	8m <sup>2</sup> に16人いるAの部屋について、1m <sup>2</sup> 当たりの人数を求める式を書く	単位量当たりの大きさの求め方を理解している		5B (4)ア						○		○	
5 (1)	直径6cmの円の円周を求める式と答えを書く	円周の長さを、直径の長さを用いて求めることができる			5C (1)エ					○			○
5 (2)	1cm <sup>3</sup> の立方体を基に、示された直方体の体積を求める	体積の単位(1cm <sup>3</sup> )と測定について理解している		5B (2)アイ						○			○
6	コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	作図に用いられている図形の約束や性質を理解している			4C (1)アイ					○	○		
7	縦5cm、横11cm、高さ4cmの直方体の面②になる四角形を選ぶ	立体図形とその見取図の辺や面のつながりや位置関係について理解している			2C (1)ウ 4C (2)ア					○	○		
8	答えが100-20×4の式で求められる問題を選ぶ	四則の混合した式の意味について理解している				4D (2)ア				○	○		
9	正五角形の1辺の長さを□cm、まわりの長さを△cmとしたときの、□と△の関係を正しく表している式を選ぶ	二つの数量の関係を□、△などの記号を用いて式に表すことができる			5C (1)ア	4D (1)ア 4D (2)ウ				○			○

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



全国	広島県	広島市	福山市	西部教育事務所													東部教育事務所					北部教育事務所		
				呉市	竹原市	大竹市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	芸北支所			三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町	三次市	庄原市
															安芸高田市	安芸太田町	北広島町							
78.1	80.7	79.2	80.6	80.9	81.6	80.8	86.0	82.1	81.2	82.6	83.8	83.1	81.4	84.6	80.4	78.2	79.5	81.6	80.0	82.5	83.4	79.4	83.2	82.3
96.9	97.3	97.1	97.0	97.0	99.0	97.4	98.3	97.6	95.5	98.4	97.9	98.7	97.0	100.0	97.5	97.3	97.0	98.1	96.9	97.8	97.7	98.4	97.3	97.5
92.8	93.5	93.7	92.7	93.3	92.0	93.2	94.4	93.0	96.2	93.8	94.7	94.5	92.5	91.8	94.7	97.3	95.2	93.6	92.3	93.7	94.6	84.1	92.7	92.4
83.8	87.0	86.8	85.4	87.1	89.5	91.1	91.3	84.8	89.2	88.4	96.8	88.1	87.2	89.8	90.6	83.8	89.1	88.8	84.2	85.2	91.5	84.1	86.5	85.6
91.8	91.8	91.6	90.9	90.9	90.5	89.5	93.6	93.1	89.8	94.0	91.9	92.8	92.5	95.9	92.2	91.9	95.8	92.5	90.8	92.8	95.4	90.5	95.0	92.4
80.9	87.8	84.2	88.1	92.7	92.0	92.7	94.3	93.4	87.9	87.7	95.4	94.5	89.5	83.7	89.3	91.9	86.1	92.5	86.8	91.2	95.4	92.1	90.8	92.8
90.6	92.1	91.3	90.9	92.7	90.5	95.3	95.7	93.2	92.4	91.7	94.0	95.3	91.0	98.0	93.9	83.8	92.1	92.9	92.7	94.0	96.2	96.8	93.3	92.8
71.9	75.9	74.1	76.3	75.1	79.0	76.4	84.9	77.2	66.9	76.1	74.4	74.5	77.4	85.7	73.8	78.4	79.4	76.9	72.6	77.4	86.2	77.8	82.5	80.5
54.1	57.4	54.9	57.9	58.6	64.5	56.5	68.2	58.4	49.7	57.4	57.9	57.4	57.1	61.2	58.2	56.8	58.2	61.0	51.6	61.9	66.9	50.8	62.5	61.4
72.5	73.7	73.9	71.6	71.1	75.5	77.5	79.5	74.0	75.2	79.9	77.2	75.3	76.7	77.6	65.2	64.9	57.6	68.4	76.0	76.1	76.9	65.1	75.2	72.6
82.3	84.4	84.3	83.3	84.2	85.0	83.8	86.4	84.6	85.4	87.7	84.9	86.0	84.2	89.8	80.7	91.9	78.8	84.4	83.7	88.1	85.4	88.9	86.5	85.6
60.8	64.0	61.0	65.5	65.7	62.0	61.8	70.8	63.6	65.0	67.9	66.7	63.8	74.4	71.4	62.7	40.5	62.4	67.3	64.7	67.9	60.8	57.1	71.3	70.4
83.9	85.6	81.2	88.8	87.8	88.5	85.9	91.6	89.6	91.7	85.9	93.3	97.0	91.0	87.8	83.6	78.4	81.8	88.3	89.1	88.4	90.8	87.3	90.6	88.8
81.1	83.8	82.6	84.2	82.5	83.5	74.9	89.3	85.7	88.5	82.8	88.8	86.8	81.2	83.7	84.4	81.1	83.6	85.2	81.9	85.5	83.8	82.5	85.2	87.0
52.0	55.9	50.9	59.6	58.0	57.5	63.9	65.1	63.2	61.8	61.8	57.2	54.5	49.6	69.4	59.8	40.5	53.9	56.1	56.5	60.1	63.8	65.1	61.7	59.9
69.4	71.1	71.4	67.3	71.0	70.5	64.4	77.4	71.6	77.1	75.7	74.4	80.0	71.4	79.6	69.7	73.0	71.5	70.6	72.8	67.0	70.8	63.5	68.1	69.3
81.0	84.4	83.6	83.7	83.8	82.5	83.2	88.5	86.1	82.8	87.3	91.2	89.4	85.0	91.8	83.2	86.5	85.5	85.3	83.1	84.3	83.8	81.0	86.7	85.9
82.0	85.5	83.6	87.2	84.5	86.0	85.3	92.1	87.1	85.4	88.2	87.7	83.8	86.5	81.6	87.3	91.9	83.6	85.4	83.9	91.8	78.5	84.1	89.0	84.8

平成26年度全国学力・学習状況調査  
設問別調査結果 [算数B：主として活用]  
広島県一児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を集計した値である。

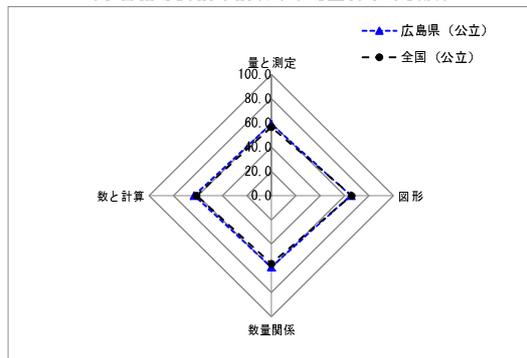
対象学校数	広島県（公立）	全国（公立）	対象児童数	広島県（公立）	全国（公立）
	489	20,176		24,526	1,080,442
分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（%）		
			広島県（公立）	全国（公立）	
全体		13	60.1	58.2	
学習指導要領の領域	数と計算	8	63.1	61.3	
	量と測定	5	59.0	56.5	
	図形	1	65.1	65.7	
	数量関係	5	59.0	56.2	
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	6	50.8	47.8	
	数量や図形についての技能	4	76.8	76.2	
	数量や図形についての知識・理解	3	56.5	54.8	
問題形式	選択式	4	66.3	64.7	
	短答式	4	63.0	62.2	
	記述式	5	52.9	49.7	

※一つの設問が複数の区分に該当する場合は、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別市町別平均正答率一覧

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式
<b>教科全体</b>													
1 (1)	示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ	示された場面から計算の結果の見直しをもち、(2位数) × (1位数)の筆算をすることができる	3A (3)ア							○		○	
1 (2)	二人の説明を基に、37 × 24の積が888になることを書く	示された計算のきまりを基に、異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を記述できる	2A (1)エ 3A (3)ウ			4D (3)ア				○			○
2 (1)	6・7月の水の使用量1500m <sup>3</sup> は、プールに入る水の量250m <sup>3</sup> の何倍かを求める式と答えを書く	示された場面から基準量と比較量を捉え、倍を求めることができる	4A (3)イエ	5B (2)ア						○			○
2 (2)	1日盛りを50m <sup>3</sup> として学校の水の使用量の表を棒グラフに表すとき、棒が縦20マスの枠の中に入らない月を選び、そのわけを書く	最大値に着目して、棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を記述できる		5B (2)ア		3D (3)ア				○			○
2 (3)	6・7月の水の使用量が、1年間の水の使用量の1/4より多いことを説明するために用いる適当なグラフを選ぶ	全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することができる		5B (2)ア		2D (3)イ 3D (3)ア 4D (4)イ 5D (4)				○		○	
3 (1)	昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分間にすればよいかを書く	示された情報を基に、条件に合う時間を求めることができる		3B (3)イ						○			○
3 (2)	4人分のご飯を分けるとき、10人分の目安を正しく表している図を全て選ぶ	10人分の量を基に40人分の量を相対的に捉え、その関係を表している図を選択することができる	1A (1)キ 2A (1)オ							○		○	
3 (3)	示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く	示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述できる		2B (2)ア 5B (4)ア						○			○
4 (1)	⑦のリズムを3回目に演奏するのは何小節目かを書く	繰り返されるリズムの規則性(周期)を見だし、それを基に小節数を求めることができる	1A (1)イ			4D (1)ア				○			○
4 (2)	二人の⑧のリズムが重なる12小節目の12はどのような数であるかを書く	二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述できる	5A (1)イ							○			○
5 (1)	畳の敷き方の約束を基に、残り4枚の長方形の板を置いた図をかく	示された条件を基に、残った平面に4つの長方形を敷き詰めることができる				2C (1)イ				○			○
5 (2)	使いやすい箸の長さの目安を基に、一あた半の長さを表している図を選ぶ	示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択することができる	5A (3)ア							○		○	
5 (3)	妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く	示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述できる	5A (3)イ			5D (3)				○			○

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



全国	広島県	広島市	福山市	西部教育事務所											東部教育事務所					北部教育事務所				
				呉市	竹原市	大竹市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	芸北支所			三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町	三次市	庄原市
															安芸高田市	安芸太田町	北広島町							
58.2	60.1	60.4	57.7	59.5	58.1	59.7	65.0	60.8	57.3	63.1	62.7	60.1	60.8	62.0	61.0	61.1	60.7	59.4	58.4	62.0	59.8	57.3	60.9	58.4
94.6	95.4	95.8	94.4	94.7	94.5	95.8	95.9	95.6	94.3	96.2	97.2	97.0	94.0	98.0	95.8	97.3	95.8	93.1	95.0	96.9	94.6	100.0	96.7	94.9
55.2	59.5	59.0	57.6	59.6	60.5	58.6	63.7	61.7	55.4	63.6	62.8	61.3	61.7	65.3	61.9	45.9	63.0	63.5	57.9	64.2	66.9	50.8	57.3	53.8
82.5	84.0	84.6	81.8	83.4	79.5	82.2	87.1	83.7	83.4	82.6	85.3	83.4	84.2	87.8	85.4	86.5	89.1	83.7	81.7	84.6	83.8	71.4	85.8	84.8
69.1	74.2	71.9	74.3	75.0	75.0	69.6	81.3	74.8	70.1	79.2	83.2	83.4	66.2	75.5	74.1	73.0	69.1	75.0	75.6	80.5	77.7	73.0	77.7	76.5
61.5	63.4	66.9	60.0	60.7	52.5	61.3	63.7	61.3	56.1	65.4	58.9	57.0	63.2	53.1	65.7	83.8	69.1	61.4	55.7	61.3	64.6	60.3	62.5	56.3
38.6	39.9	41.2	36.9	39.9	35.5	40.8	44.3	39.8	38.9	46.2	39.6	41.3	38.3	38.8	40.6	29.7	40.0	34.4	38.6	39.3	34.6	33.3	34.0	36.5
56.7	59.8	59.1	57.6	58.3	55.5	57.6	67.7	57.6	59.2	62.5	62.8	60.4	64.7	67.3	67.8	56.8	52.7	63.8	59.6	70.1	56.9	54.0	63.8	56.0
30.6	33.8	33.8	30.7	35.8	36.5	36.1	38.8	35.2	31.8	39.3	43.5	33.2	30.8	38.8	31.0	29.7	33.9	32.0	34.3	32.7	29.2	27.0	31.5	28.9
62.2	62.8	62.9	60.2	66.0	56.5	63.4	66.3	64.8	54.1	67.4	67.4	57.9	63.9	69.4	61.1	78.4	69.7	63.8	57.5	65.1	64.6	65.1	60.2	67.1
60.5	62.2	61.6	59.9	59.0	62.5	66.0	71.5	63.3	56.7	64.5	69.5	70.2	69.2	67.3	62.3	62.2	56.4	61.9	61.0	61.6	64.6	58.7	65.6	58.8
65.7	65.1	67.5	60.8	59.9	64.0	59.7	68.6	67.2	66.2	66.7	59.3	60.4	66.9	69.4	65.7	67.6	68.5	60.5	63.4	63.5	63.8	69.8	68.1	63.5
46.1	46.5	45.8	44.8	46.1	45.0	49.7	53.3	49.0	43.3	47.5	47.4	43.4	54.1	44.9	46.0	56.8	41.8	43.4	46.5	50.0	40.8	41.3	49.0	48.7
33.0	34.9	34.7	31.4	34.7	38.0	35.1	42.6	36.3	35.0	39.1	37.9	31.9	33.1	30.6	35.6	27.0	40.6	36.2	32.6	35.8	34.6	39.7	39.2	33.2